

第3章 市民の健康の状況

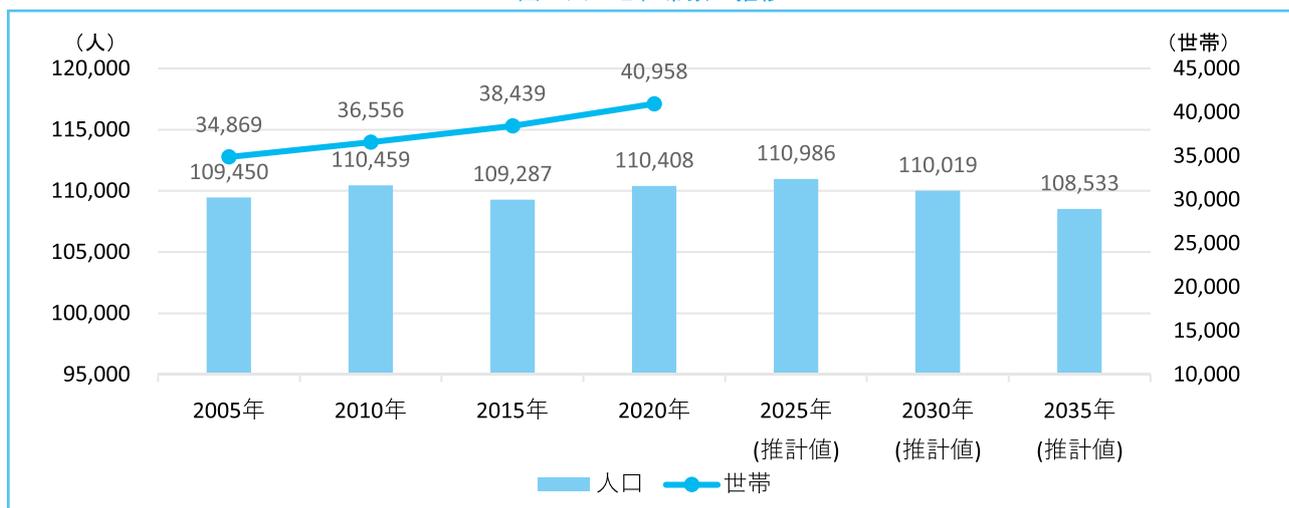


1. 人口構成

(1) 人口と世帯数

本市の人口は、平成27年(2015年)に減少し、令和2年(2020年)は増加に転じています。

図. 人口と世帯数の推移

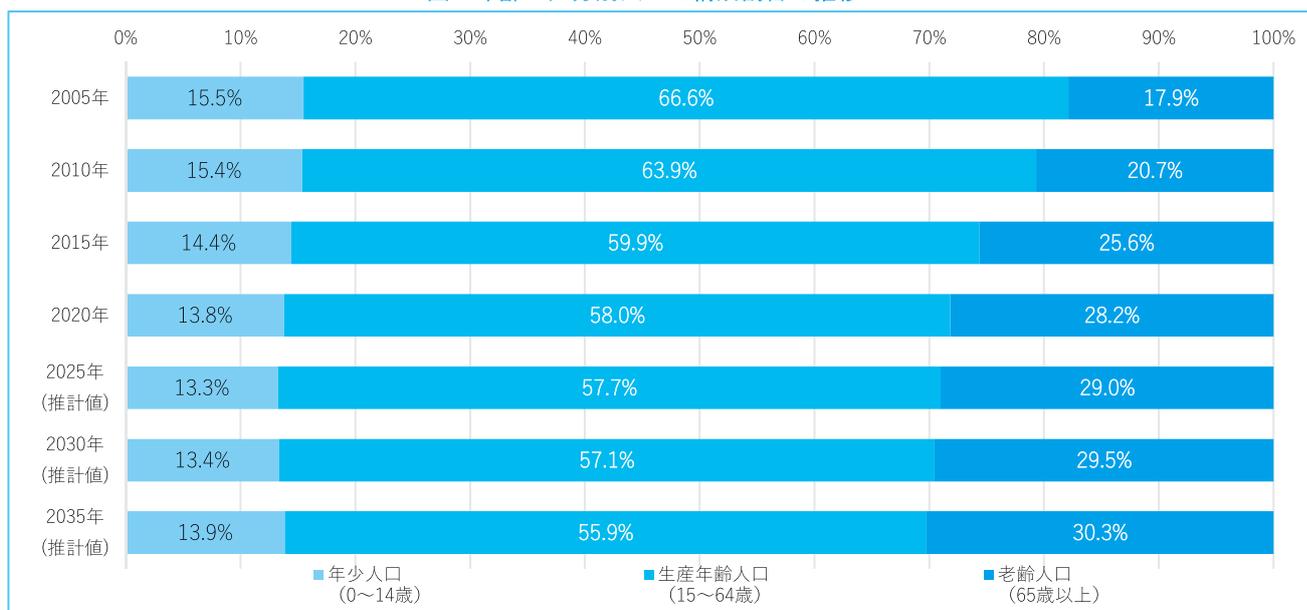


資料：H17年(2005年)～R2年(2020年)は「国勢調査」
R7年(2025年)～R17年(2035年)は「第2次白山市総合計画」(「白山市人口ビジョン」に基づく推計値)

(2) 年齢3区分別人口構成

本市の年齢3区分別人口構成割合は、年少人口や生産年齢人口が減少し、高齢人口が増加しています。

図. 年齢3区分別人口の構成割合の推移



資料：H17年(2005年)～R2年(2020年)は「国勢調査」
R7年(2025年)～R17年(2035年)は「第2次白山市総合計画」(「白山市人口ビジョン」に基づく推計値)

(3) 出生数と出生率

本市の出生数と出生率は、平成28年(2016年)に、どちらも増加しましたが、その後減少しています。出生率は平成28年(2016年)から国や県より高くなっています。

図. 出生数と出生率の推移

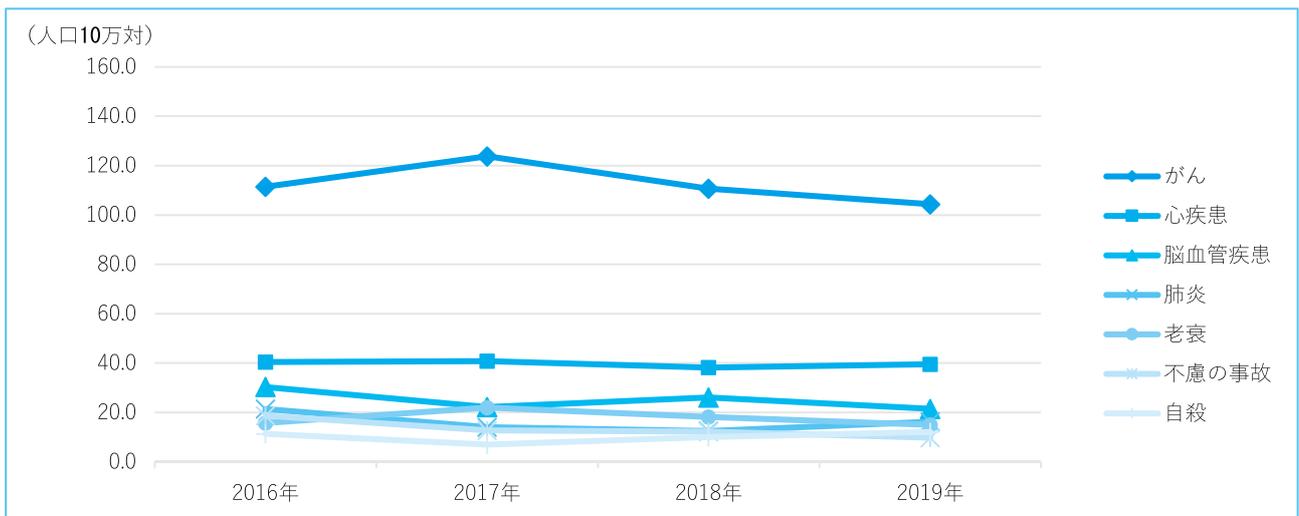


資料：厚生労働省「人口動態統計」、石川県「衛生統計年報」

(4) 年齢調整死亡率

本市の主要死因別年齢調整死亡率は、「がん」が死因の第1位で推移しており、次いで「心疾患」、「脳血管疾患」の順となっています。

図. 白山市の主要死因別年齢調整死亡率の推移



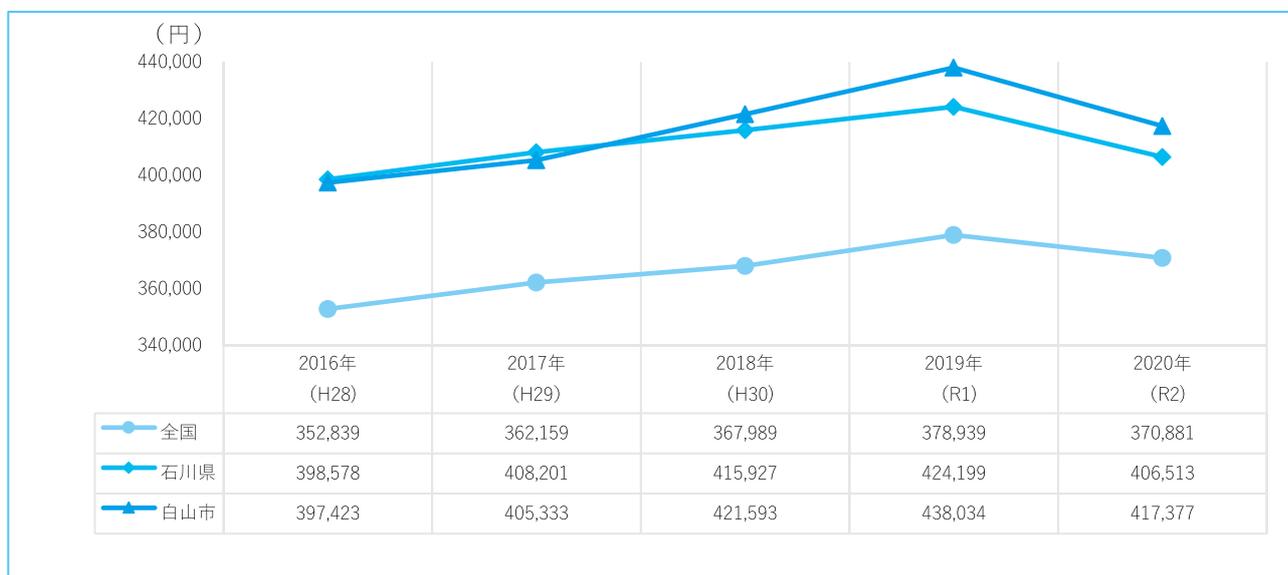
資料：石川県「衛生統計年報」

2. 医療費

(1) 国民健康保険の一人あたり医療費

本市の国民健康保険の一人あたり医療費は増加しており、平成30年(2018年)以降、国や県より高くなっていますが、令和2年(2020年)に国や県とともに下がっています。

図. 国民健康保険の一人あたり療養費の推移

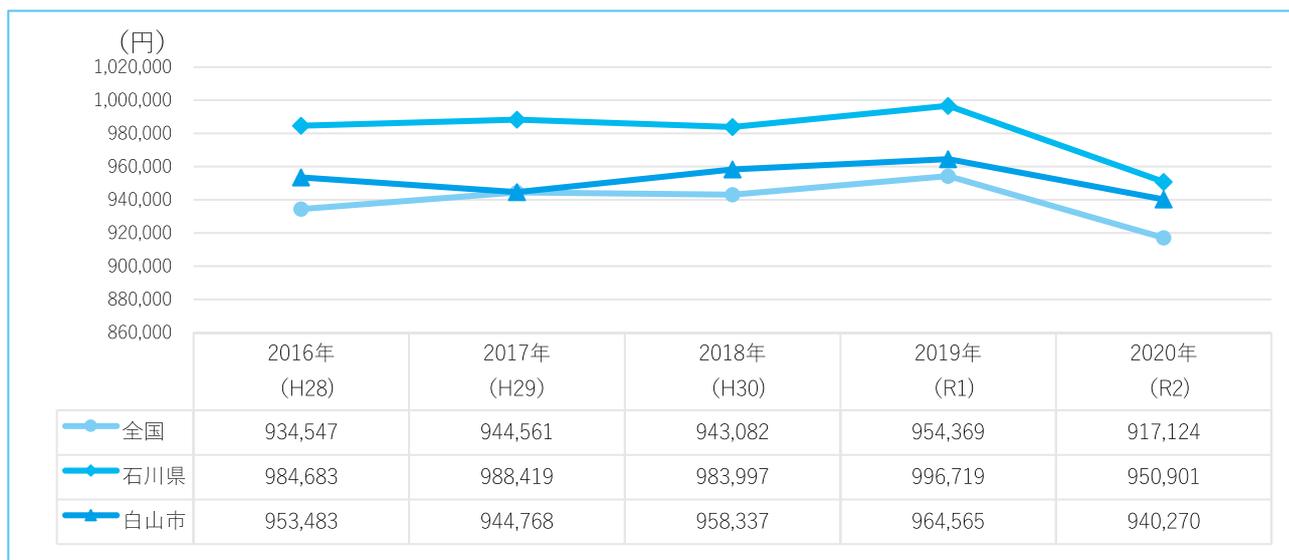


資料：【全国】厚生労働省「健康保険事業年報」
 【石川県】石川県国民健康保険団体連合会「グラフで見る石川県の国保と介護」
 【白山市】白山市保険年金課調べ

(2) 後期高齢者医療保険の一人あたり医療費

本市の後期高齢者医療保険の一人あたり医療費は増加傾向にあり、全国より高いが、県より低くなっています。令和2年(2020年)に国や県とともに下がっています。

図. 後期高齢者医療保険の一人あたり療養費の推移



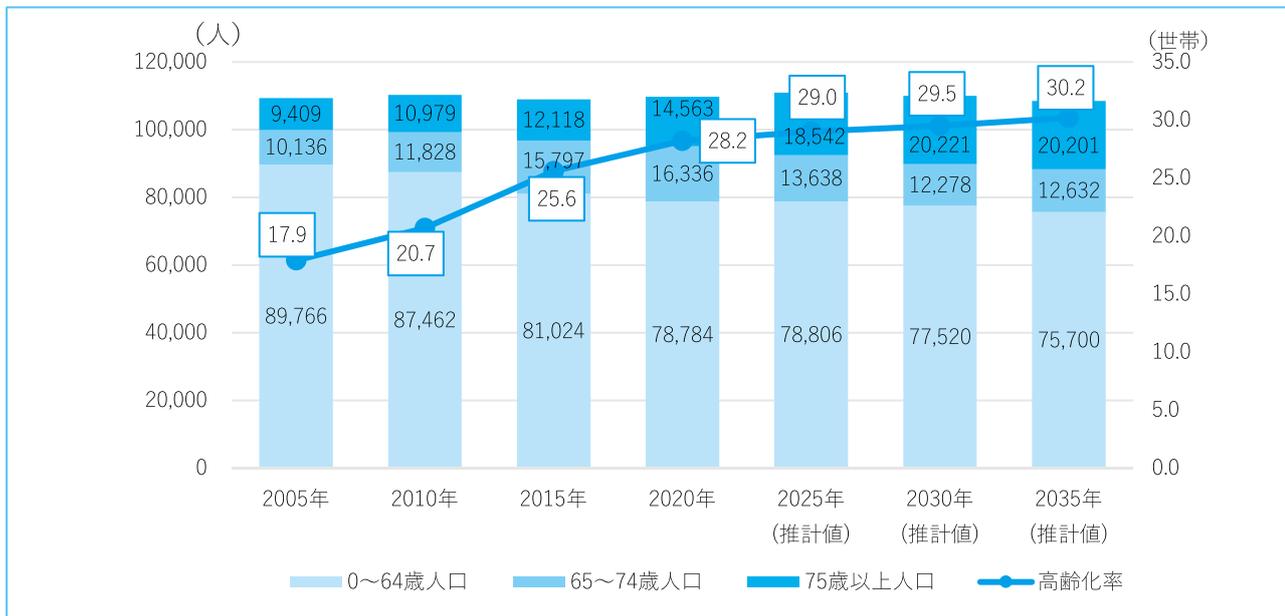
資料：【全国】厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」
 【石川県・白山市】石川県後期高齢者広域連合調べ

3. 介護保険の状況

(1) 高齢者人口・高齢化率

本市の高齢化率(65歳以上の人口割合)は増加しており、令和17年(2035年)には3人に1人が65歳以上と推計されています。

図. 高齢者人口・高齢化率の推移



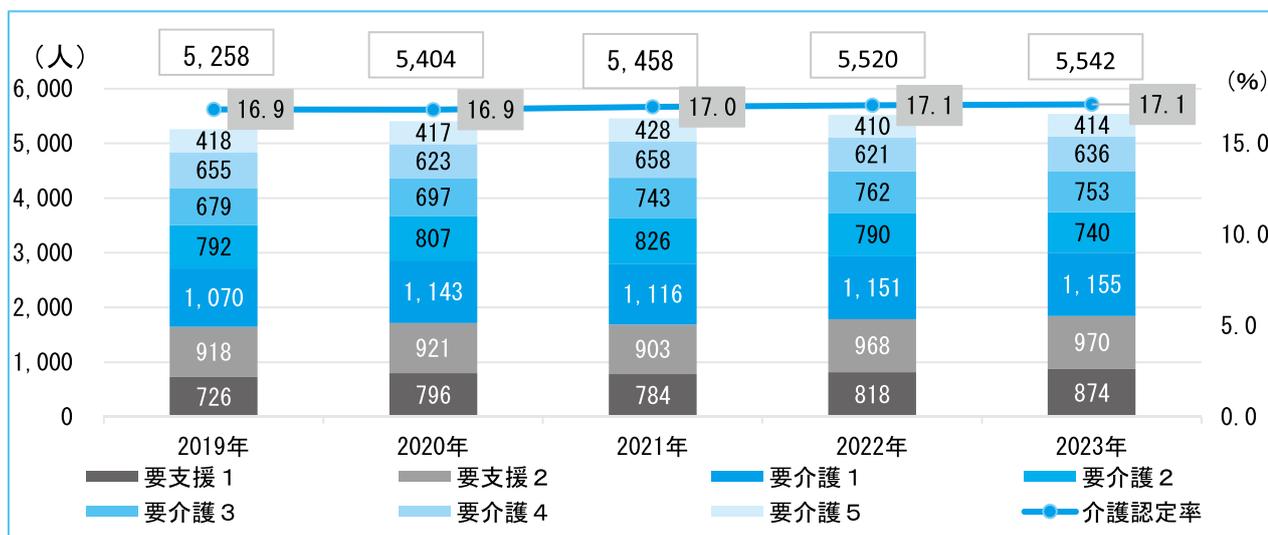
資料：H17年(2005年)～R2年(2020年)は「国勢調査」
R7年(2025年)～R17年(2035年)は「日本の地域別将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所

(2) 要介護等認定者の現状

本市の要支援・要介護認定者数はわずかに増加していますが、認定率は横ばいで推移しています。

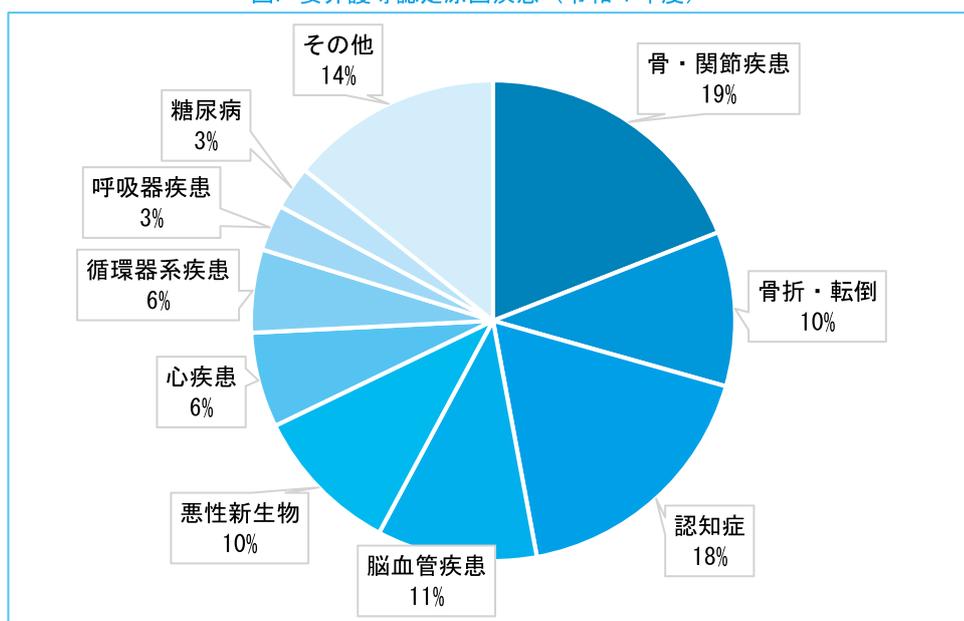
介護が必要となる原因のトップは骨・関節疾患、次いで認知症となっています。その他、脳血管疾患・循環器疾患・心疾患・糖尿病など、生活習慣病によるものが1/4を占めています。

図. 要介護等認定状況の推移 (各年3月31日現在)



資料：「白山市の健康と福祉」

図. 要介護等認定原因疾患（令和4年度）



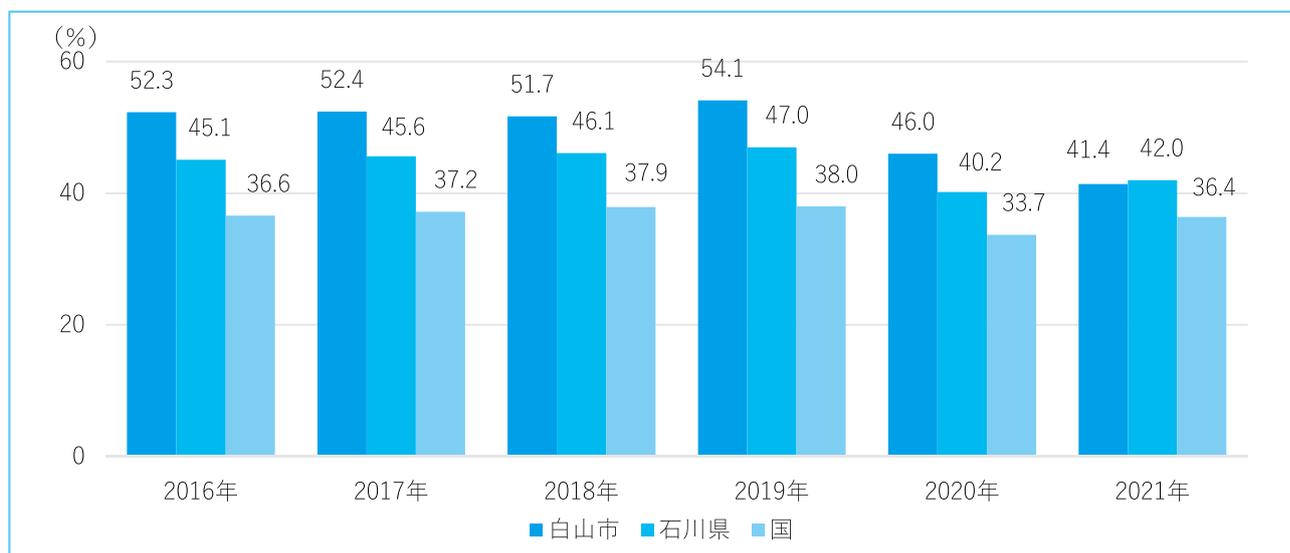
資料：白山市長寿介護課調べ

4. 市民の健康管理状況

(1) 国民健康保険特定健康診査の受診状況

本市の国民健康保険特定健康診査の受診率は国、県より高く、令和元年度(2019年)は54.1%になりましたが、令和2年度(2020年)からは減少しています。

図. 国民健康保険特定健康診査の受診率の推移



資料：白山市いきいき健康課調べ

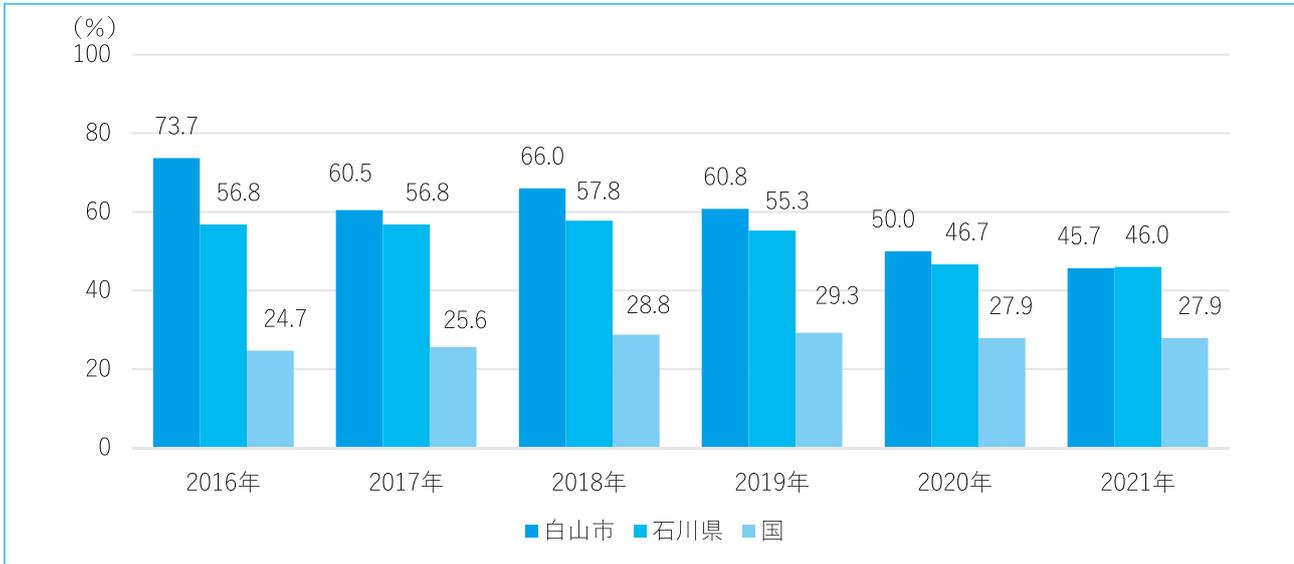
表. 長寿健診(75歳以上)、いきいき健診(18~39歳)の受診者数(率)の推移

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
長寿健診	受診者数	5,308	5,513	5,677	6,123	6,076	4,911	5,974
	受診率	43.5%	43.8%	43.3%	44.7%	43.4%	35.1%	40.8%
いきいき健診	受診者数	305	315	315	336	274	268	330

(2) 国民健康保険特定保健指導の状況

本市の国民健康保険特定保健指導の実施率は令和元年度（2019年）まで60%以上を保っていましたが、令和2年度（2020年）からは新型コロナウイルス感染症拡大も影響し減少しています。

図. 国民健康保険特定保健指導の実施率の推移



資料：白山市いきいき健康課調べ

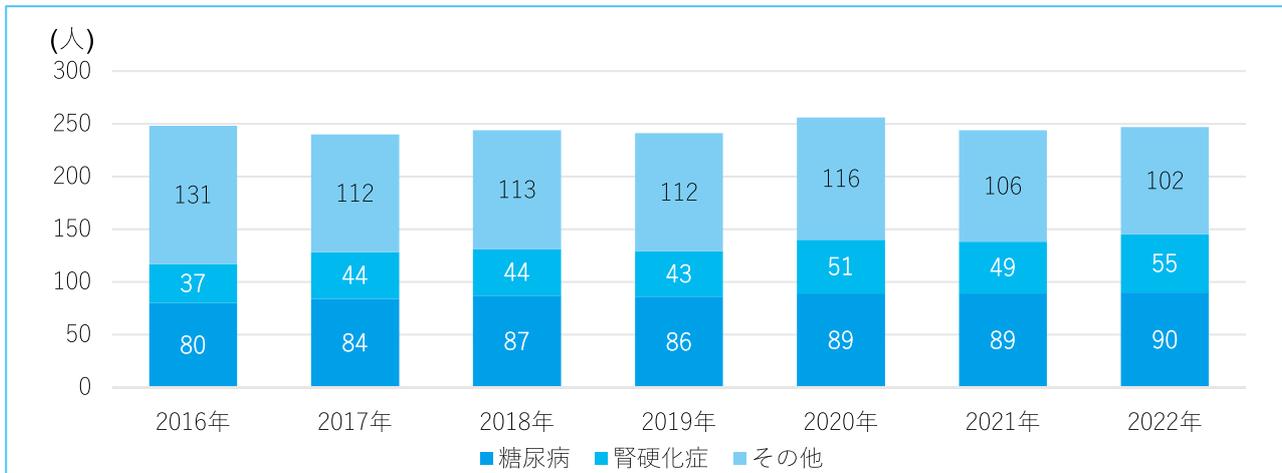
(3) 人工透析患者の状況

市では、糖尿病等生活習慣病の重症化予防の観点から「新規透析導入者数の減少」を市の最優先課題として、医師会等と連携し取り組んでいます。

人工透析患者数は、令和2年度（2020年）は一時的に増加しましたが、ほぼ横ばいとなっています。原因疾患は、国と同様に「糖尿病」の人工透析患者数が1番多く、「腎硬化症」による人工透析患者数が次第に増加しています。

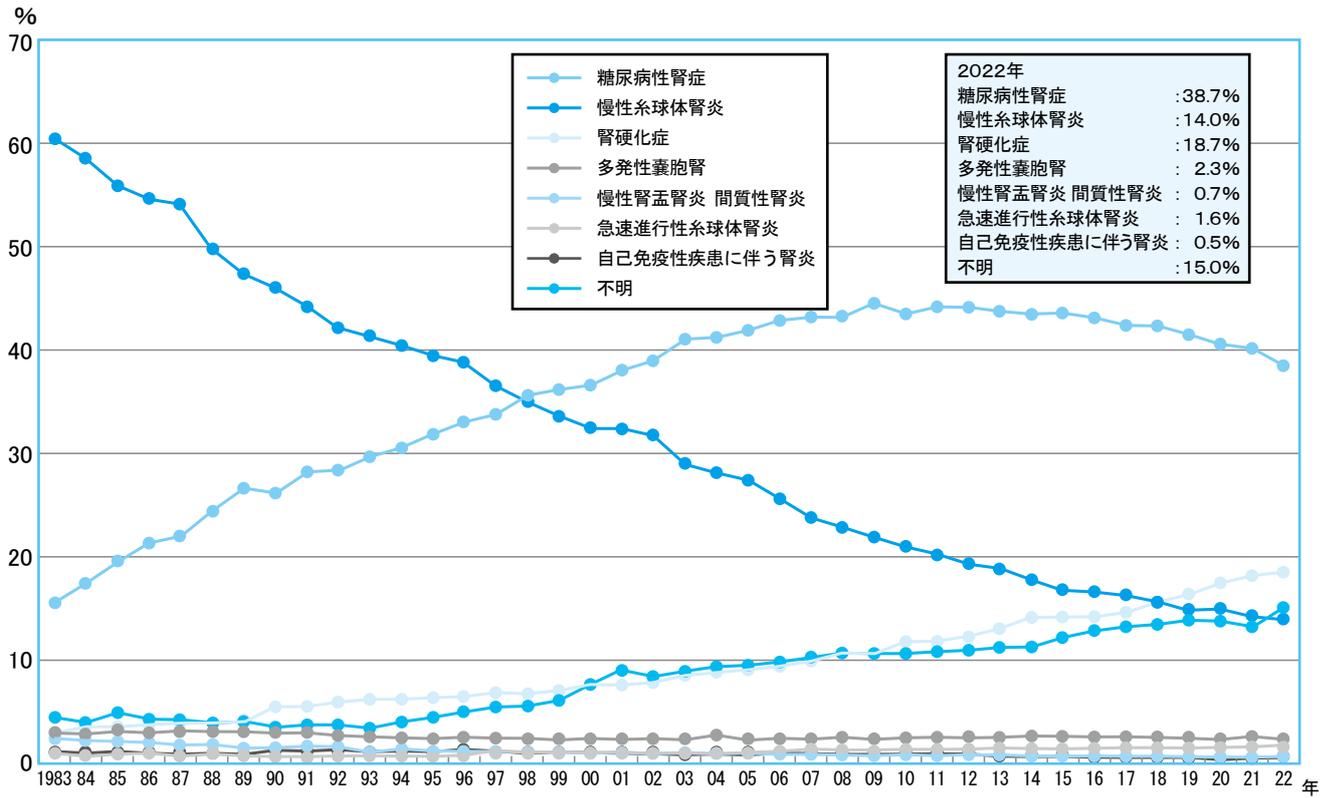
新規人工透析患者数は、令和2年度（2020年）は、一時的に減少しましたが、ほぼ30人前後で推移しています。令和3年度（2021年）から、新規人工透析患者数の9割近くを予防可能な原因疾患である「糖尿病」「腎硬化症」が占めています。

図. 人工透析患者数の推移（原因疾患別）



資料：白山市いきいき健康課調べ

図. 人工透析患者 原疾患割合の推移 (原因疾患別)



資料：導入患者 原疾患割合の推移, 1983-2002

(患者調査による集計)

出典：一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況 (2022年12月31日現在)」より

図. 新規人工透析患者数の推移 (原因疾患別)



資料：白山市いきいき健康課調べ

(4) 幼児健診の身体発育

幼児の肥満（97パーセンタイル以上）は少数だが、3歳4か月児健診では増加傾向にあります。

表. 1歳6か月児健診・3歳4か月児健診カウプ指数

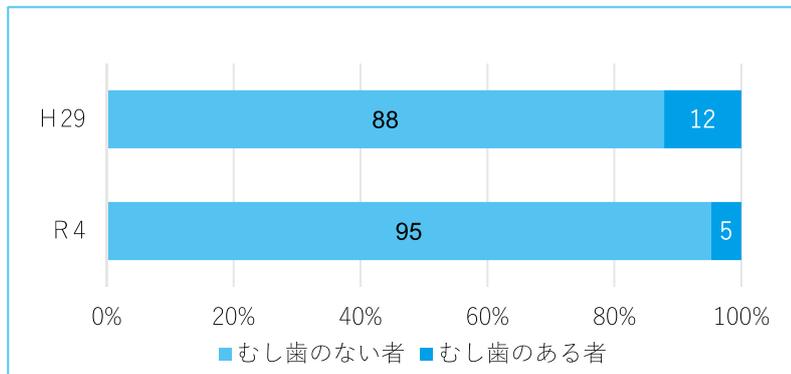
		カウプ指数				受診者計	肥満割合
		3パーセンタイル以下	3～97パーセンタイル未満	97パーセンタイル以上	未計測		
1歳6か月児健診	2017年(H29年)	22	888	36	0	946	3.81%
	2022年(R4年)	18	802	16	0	836	1.91%
3歳4か月児健診	2017年(H29年)	14	864	17	2	897	1.90%
	2022年(R4年)	9	910	22	1	942	2.34%

資料：白山市いきいき健康課調べ

(5) 3歳児健診のむし歯罹患率

3歳児健診でむし歯のない者の割合が増加しています。

図. 3歳児健診歯科健診結果

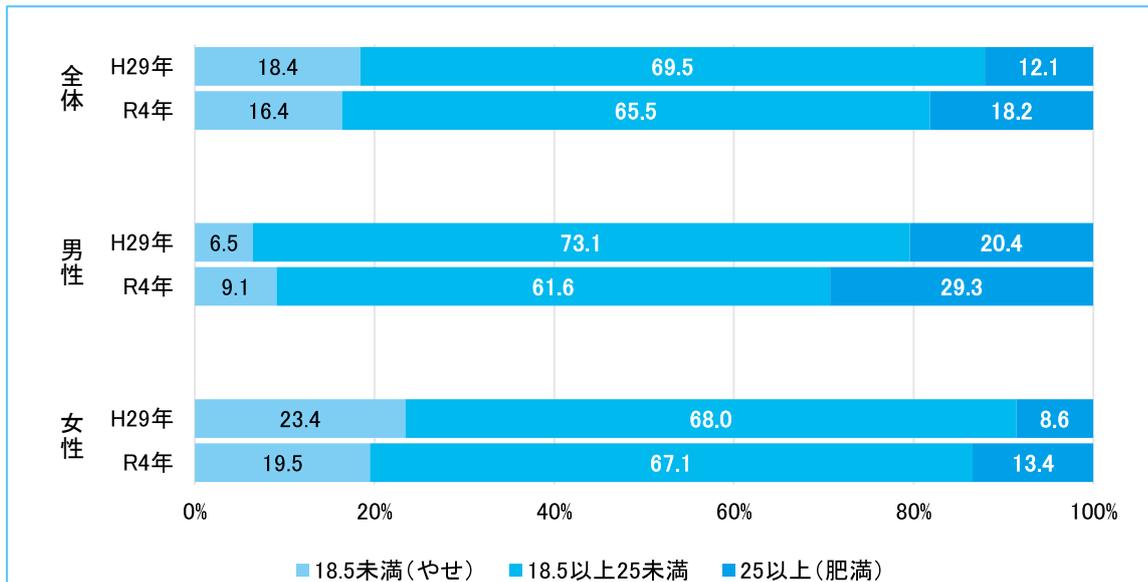


資料：白山市いきいき健康課調べ

(6) いきいき健診（19～39歳対象）の肥満者（BMI 25以上）

肥満者（BMI 25以上）の割合は、男女ともに高くなっています。

図. 19～39歳いきいき健診 BMI（体格）

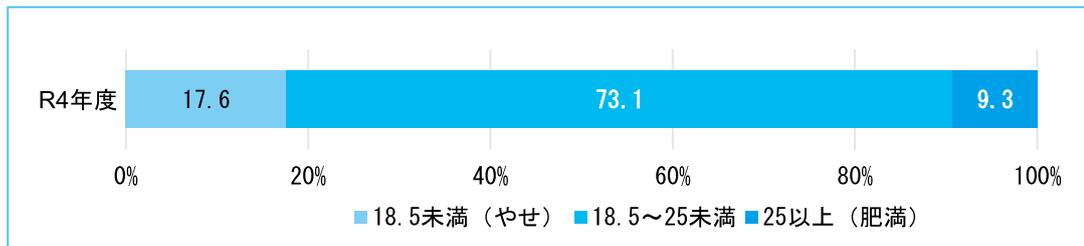


資料：白山市いきいき健康課調べ

【参考】母子健康手帳交付者 妊娠前 BMI (令和4年度)

(女性 722 人)

BMI25 以上の肥満の割合は 9.3%となっています。

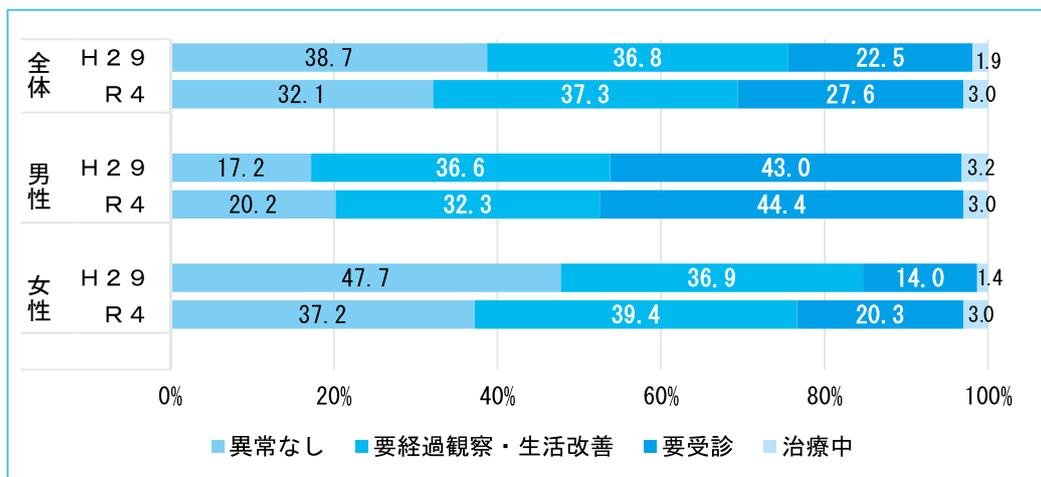


資料：白山市いきいき健康課調べ

(7) いきいき健診総合判定結果の状況

男女ともに、「要受診」の割合が高くなっています。

図. 19~39 歳いきいき健診 総合判定結果



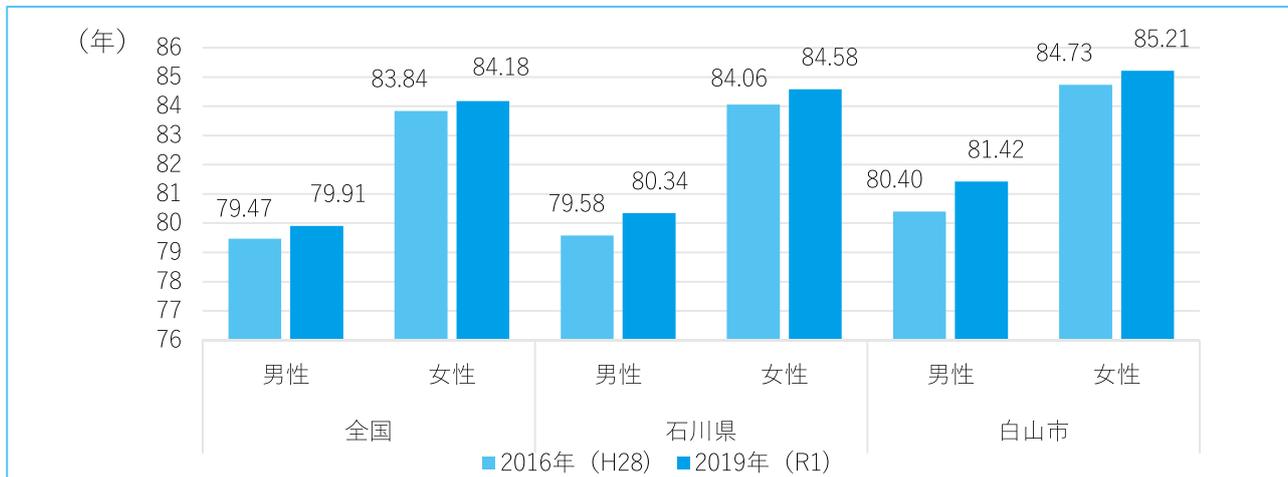
資料：白山市いきいき健康課調べ

5. 健康寿命と平均寿命

本市の健康寿命「日常生活動作が自立している期間の平均」は、全国や石川県より長く、男女ともに延伸しています。また、平均寿命と健康寿命の差をみると、男性より女性が大きくなっています。

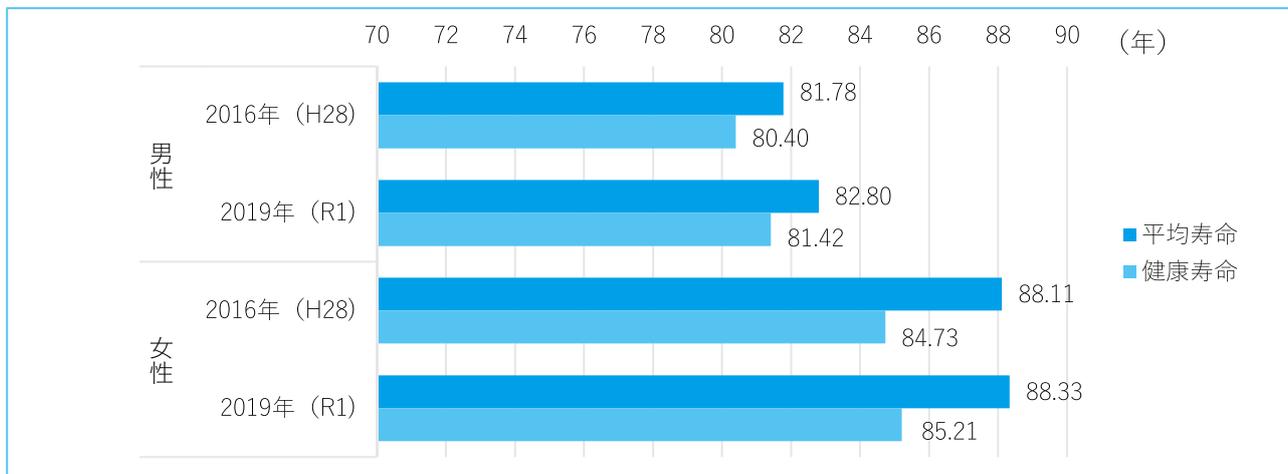
※「日常生活動作が自立している期間の平均」…要介護2～5の認定者数をもとに算出

図. 健康寿命「日常生活動作が自立している期間の平均」



※全国、石川県の値は厚生労働科学研究班「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」の数値を引用
白山市の値は厚生労働科学研究班「健康寿命の算定プログラム」により算出

図. 白山市の平均寿命と健康寿命



※厚生労働科学研究班「健康寿命の算定プログラム」により算出

「健康寿命」の考え方について

一般的に国が公表する「健康寿命」は、外国との比較を容易にするため、国民生活基礎調査（アンケート）のデータを元に算定しています。市町村は、サンプル数の少ない国民生活基礎調査ではなく、介護保険のデータを元に「健康寿命」を算定するのが一般的です。

よって、国が一般的に公表するアンケートを基にした「健康寿命」と、市町村が公表する要介護認定者数を基にした「健康寿命」は比較できませんので、ご注意ください。

6. アンケート調査にみる市民の健康に関する現状

■ 調査結果の見方

1. 調査結果は百分率で表示し、百分率は小数第2位を四捨五入しています。よって、合計値が100%にならない場合があります。
2. 複数回答が可能な質問の百分率は、各選択肢の回答数を本調査の総回答数で割った数値です。よって、各項目の比率の合計値が100%にはなりません。
3. 表中に「N」と記してあるのは、対象者の総数です。

※アンケート結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。

[トップページ](#) ⇒ [健康・福祉](#) ⇒ [市民の健康](#) ⇒ [第3次白山市健康プラン](#)

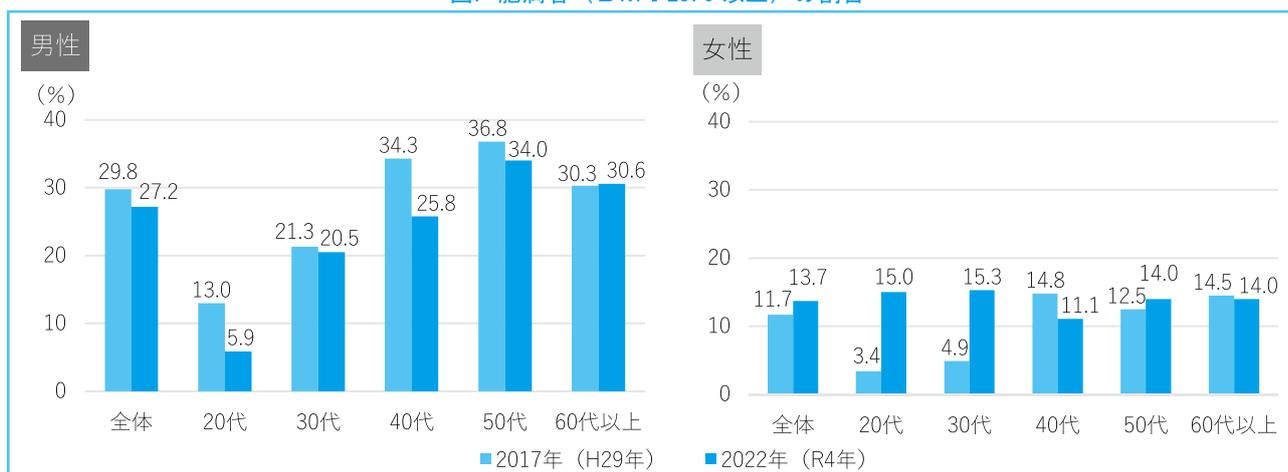
からご覧ください

(1) 栄養・食生活

① 肥満者

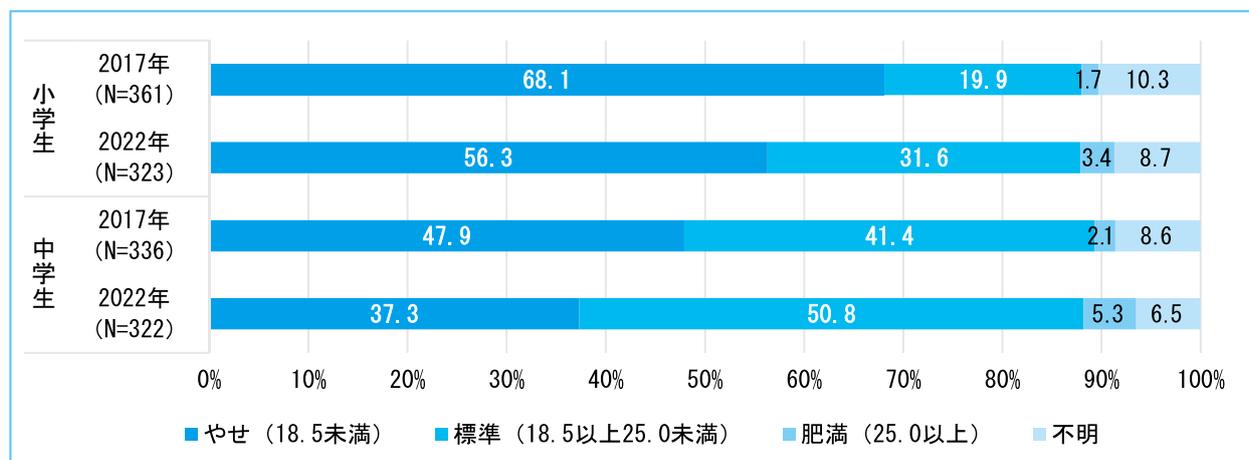
肥満者の割合は、30代以上の年代において女性より男性が高くなってはいますが、男性の肥満者の割合は、前回調査と比較すると、60代以上を除き低くなっています。少・中学生では、肥満の割合が増加しています。

図. 肥満者（BMI 25.0以上）の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

図. 小中学生のやせ・肥満の割合

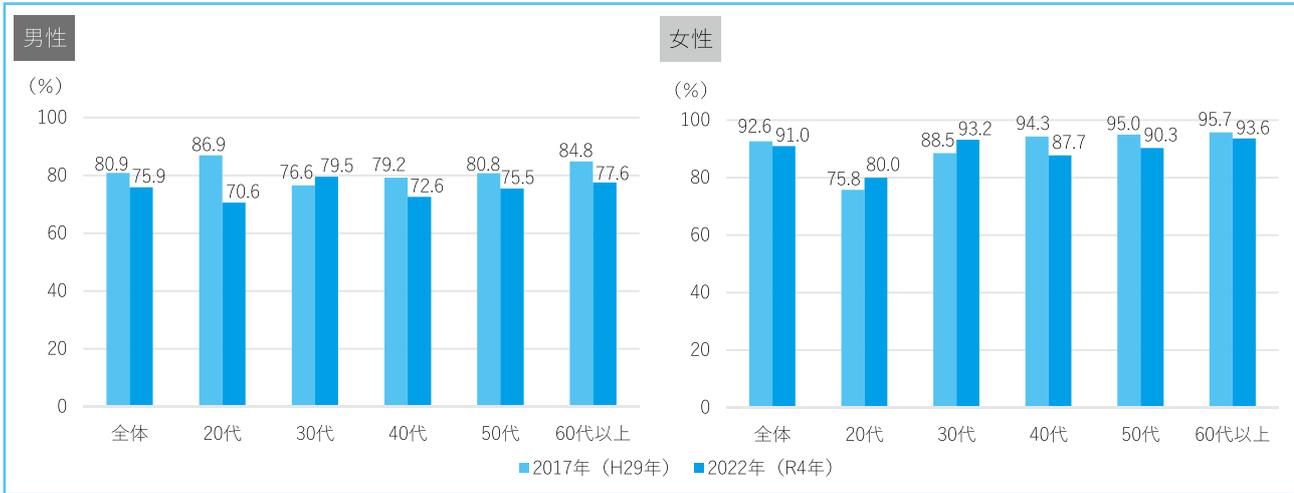


資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生）

②野菜の摂取

野菜を毎日食べる人の割合は、男女ともに7割以上を維持していますが、前回調査と比較すると、男性の20代と40代以上、女性の40代以上の割合が下がっています。

図. 野菜を毎日食べる人の割合

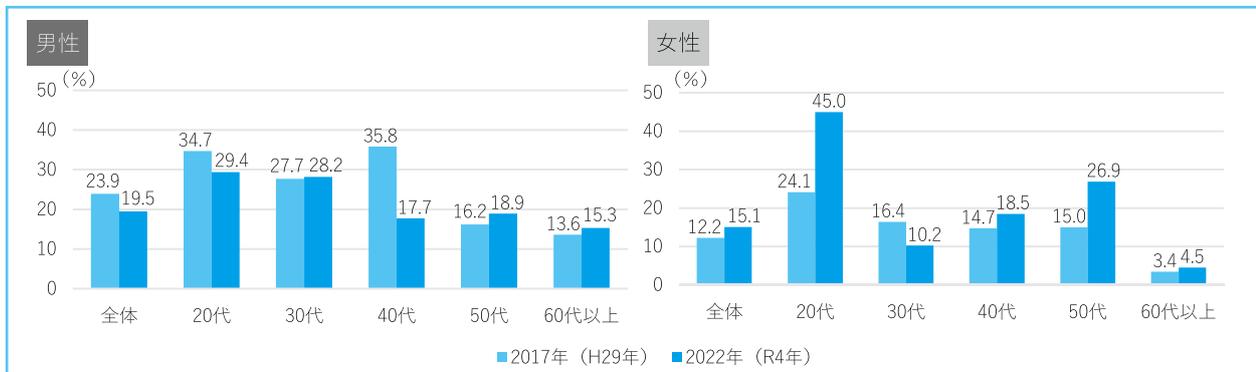


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

③朝食の欠食

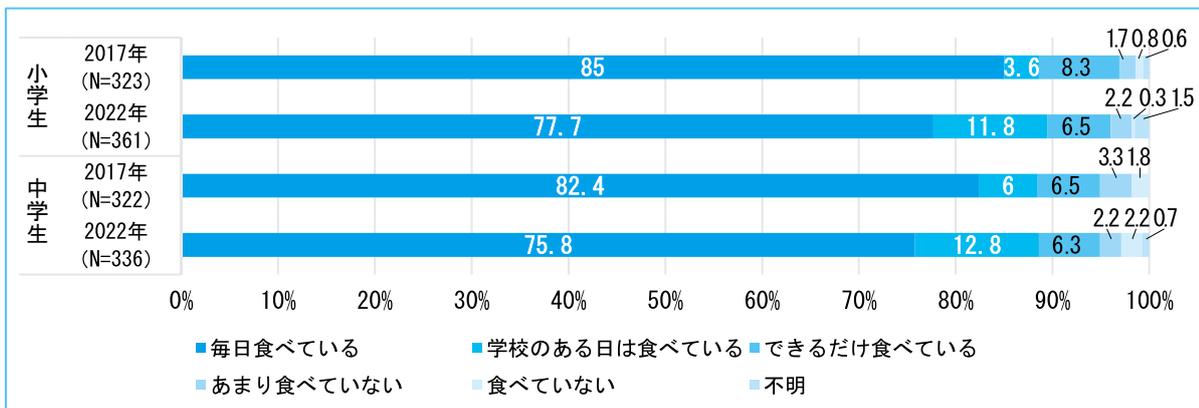
朝食を欠食する人の割合は、前回調査と比較すると、男性は減少、女性は増加しています。年代別でみると、男性は20代と40代で欠食する人の割合が減少し、女性は20代と40代以上で増えています。小・中学生では「毎日食べている」人の割合が減少しています。

図. 朝食を欠食する人の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

図. 小中学生の朝食の欠食の割合

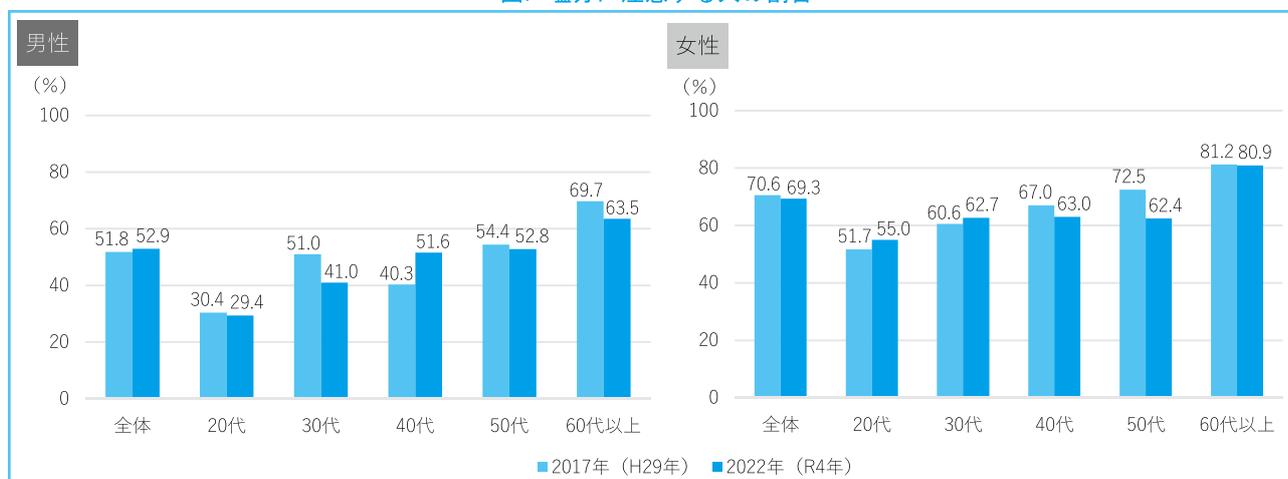


資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生）

④塩分への注意

塩分に注意する人の割合は、すべての年代において女性の方が高くなっています。前回調査と比較すると男性では40代を除くすべての年代、女性では40代以上で注意する割合が下がっています。

図. 塩分に注意する人の割合

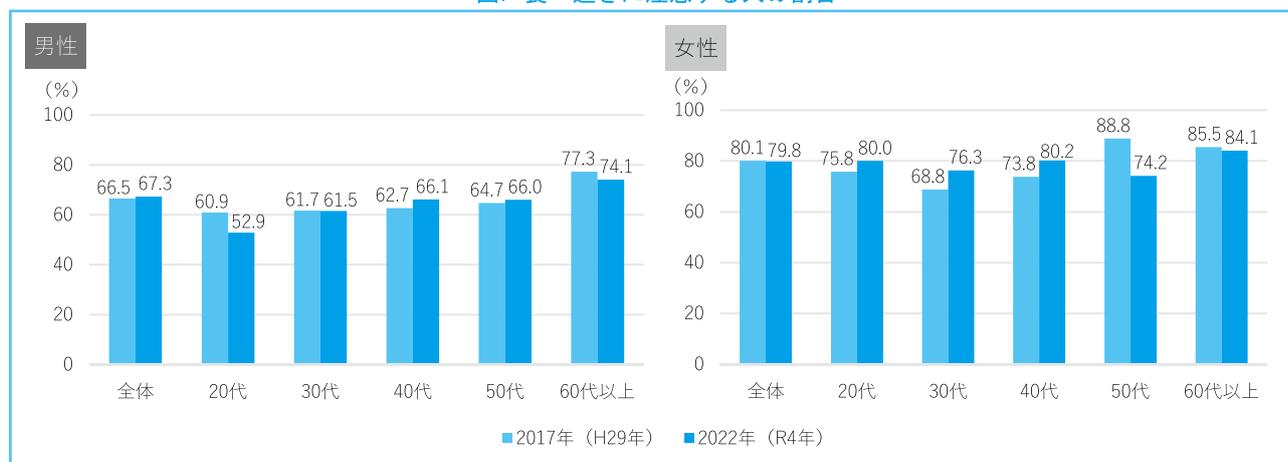


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

⑤食べ過ぎへの注意

食べ過ぎに注意する人の割合は、全ての年代において男性より女性が高く、前回調査と比較すると、女性の20～40代で増えています。

図. 食べ過ぎに注意する人の割合

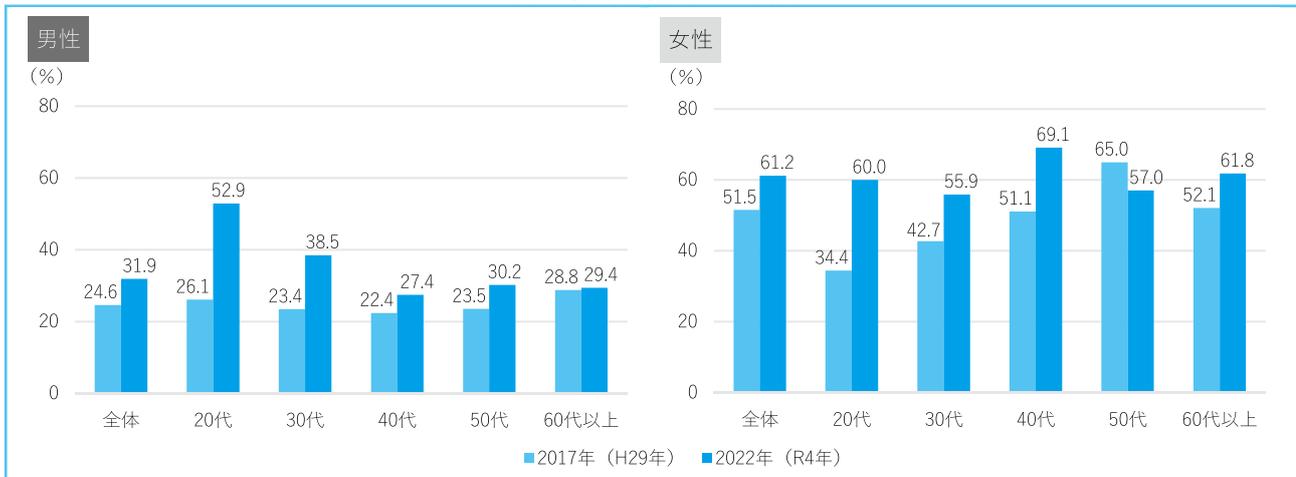


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

⑥間食

毎日間食する人の割合は、全ての年代において男性より女性が高く、前回調査と比較すると、男性のすべての年代、女性の50代を除くすべての年代で増えています。

図. 毎日間食する人の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

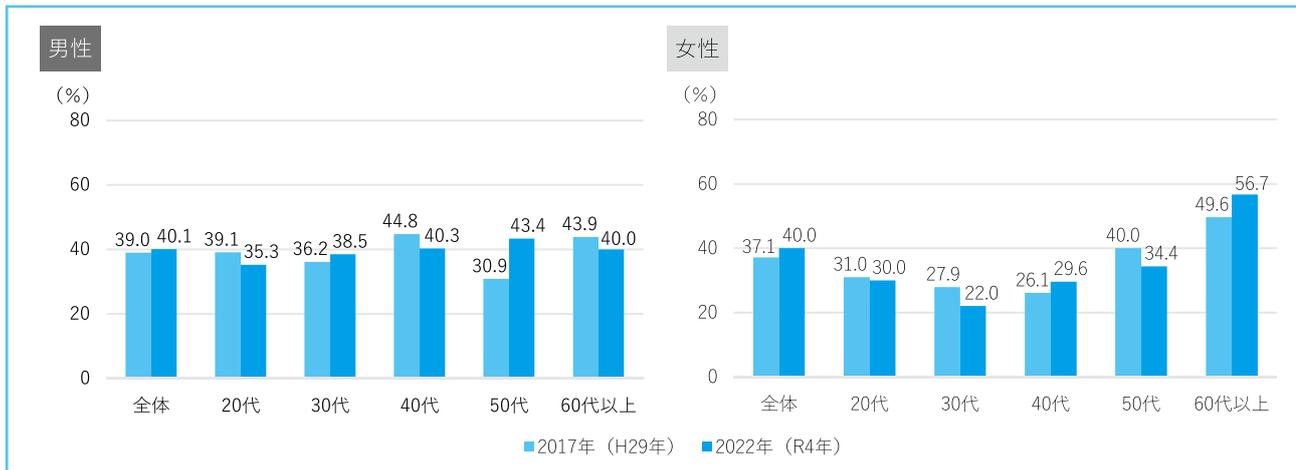
（2）身体活動・運動

①運動習慣者

定期的に運動する人の割合は、50代までは男性が高く、60代以上は女性が高くなっています。前回調査と比較すると、男性の30代と50代、女性の40代と60代以上で増えています。

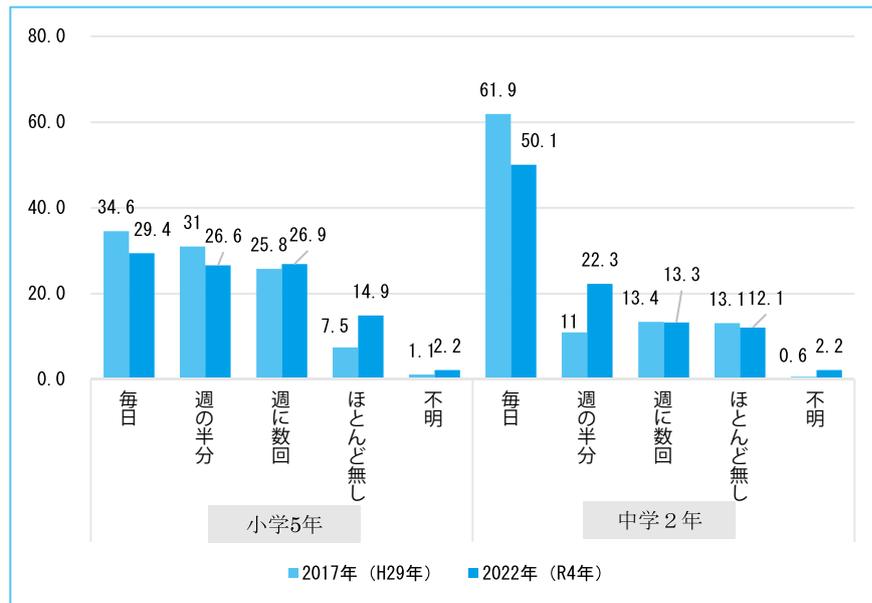
小中学生の運動習慣は、前回調査に比較し、毎日運動する人の割合が下がっています。

図. 運動習慣者の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

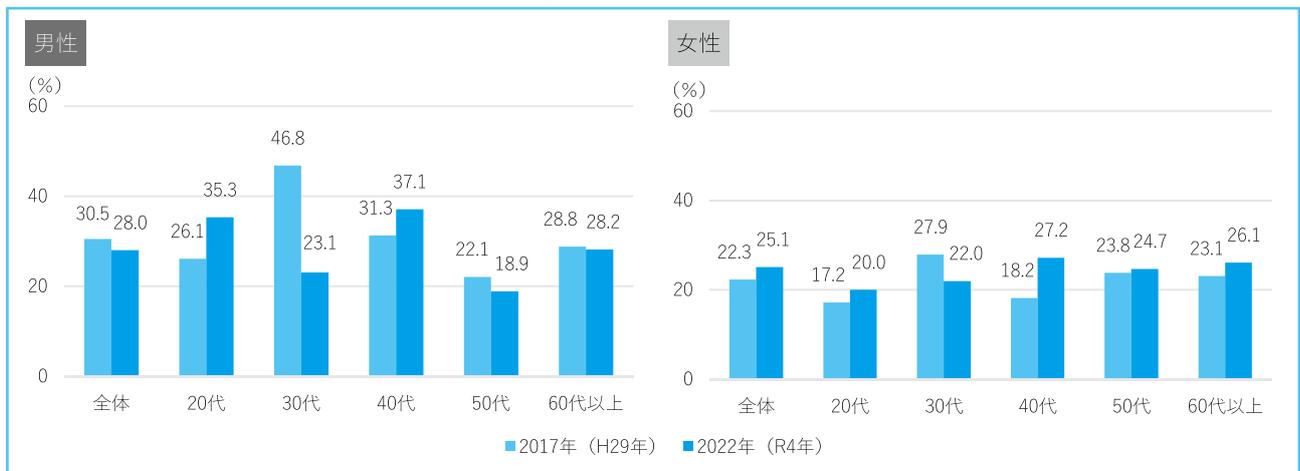
図. 小中学生の運動習慣者の割合



② 1日に6,000歩以上歩いている人

1日に6,000歩以上歩いている人の割合は、前回調査と比較すると、男性は20代と40代、女性では40代以上で増えています。

図. 1日に6,000歩以上歩いている人の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

表. 1日の平均歩行数

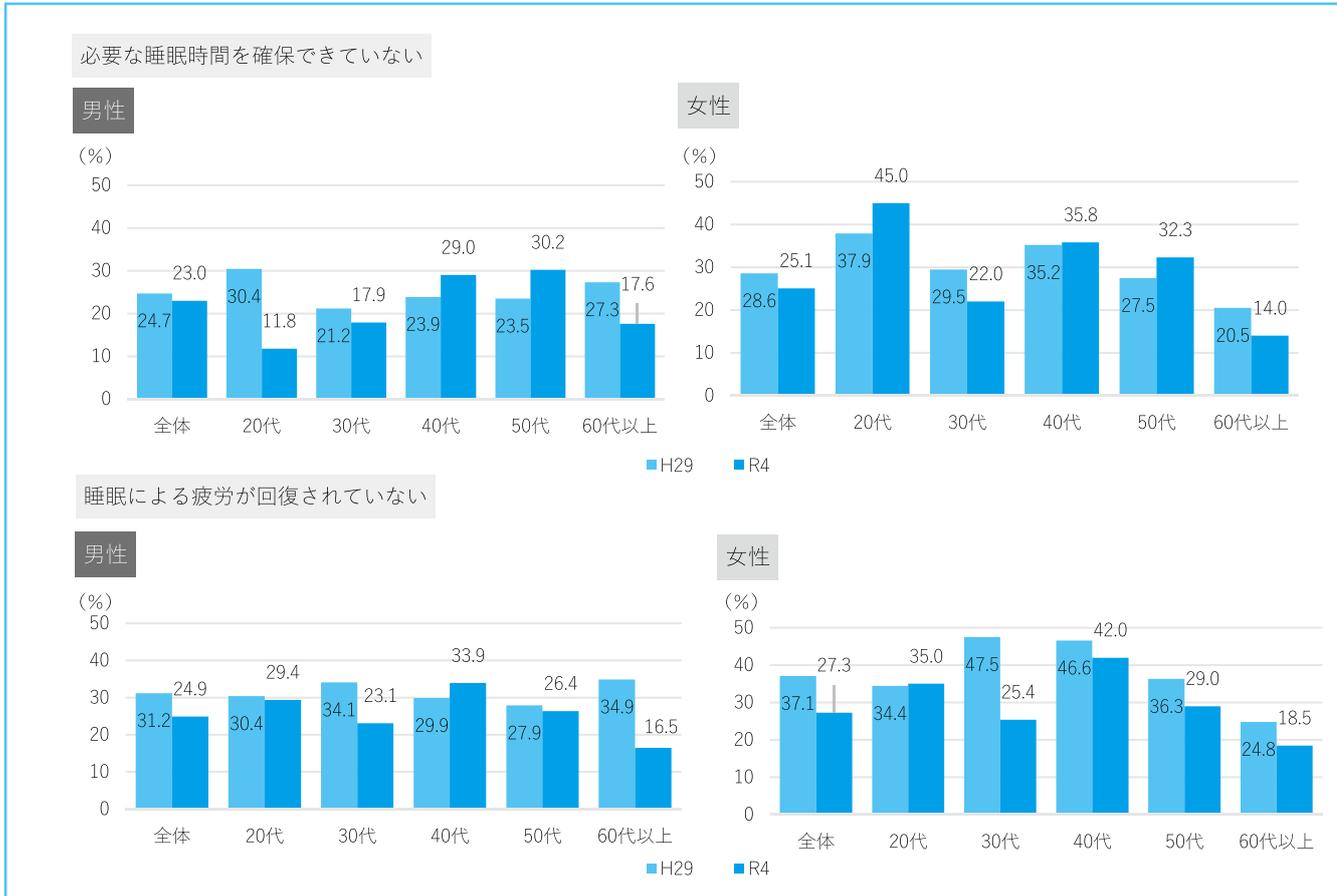
		2022年（令和4年）
20～59歳	男性	6,684歩
60歳以上	男性	4,547歩
20～59歳	女性	5,509歩
60歳以上	女性	4,657歩

資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(3) 休養・こころの健康

「必要な睡眠時間を確保できていない人」の割合は、男性の40・50代、女性の20代、50代で増加しています。また、「睡眠による疲労が回復できていない人」の割合は、男性の40代、女性の20代を除いて減少しています。

図. 必要な睡眠時間の確保と睡眠による疲労回復ができていない人の割合

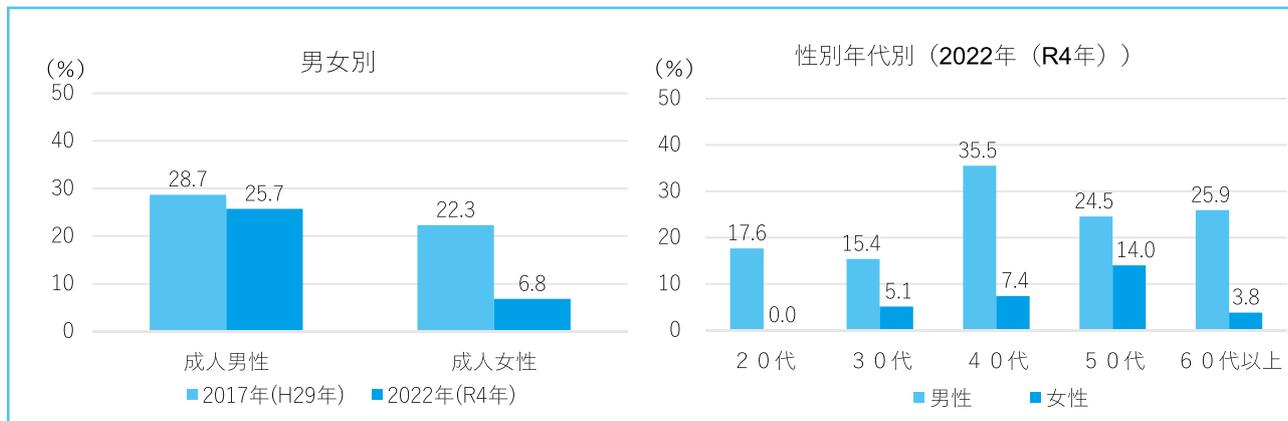


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(4) たばこ

喫煙者の割合は、前回調査と比較すると、男女ともに減少しています。年代別にみると男性は40代の喫煙者が特に多く、女性は50代が多くなっています。また、男性の喫煙者は30代より20代が多く、女性の20代は喫煙者がいません。

図. 成人喫煙者の割合

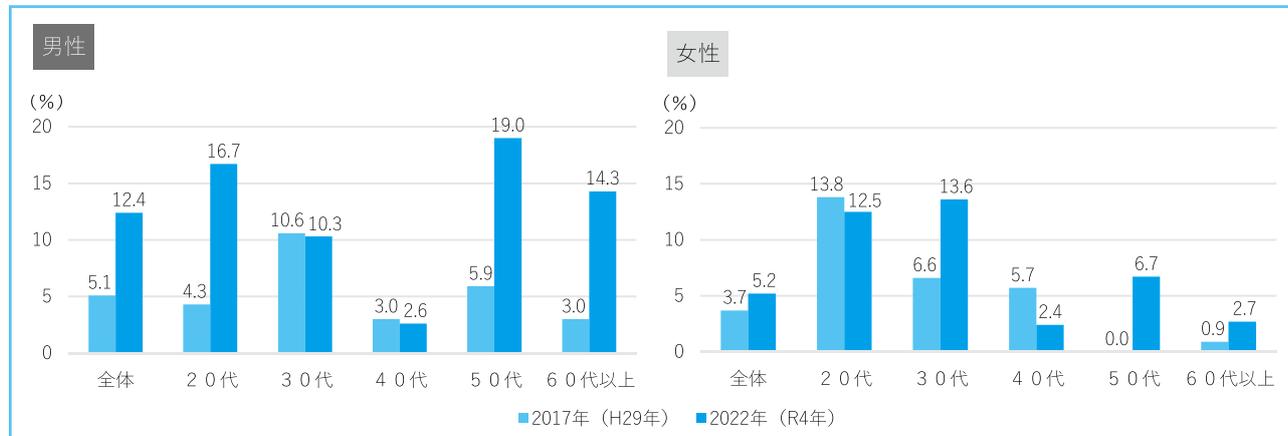


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(5) アルコール

多量飲酒者の割合は、男性は20代、50代以上、女性は20代と30代が高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に男女とも増加しています。

図. 多量飲酒（毎日3合以上飲酒）者の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(6) 歯・口腔の健康

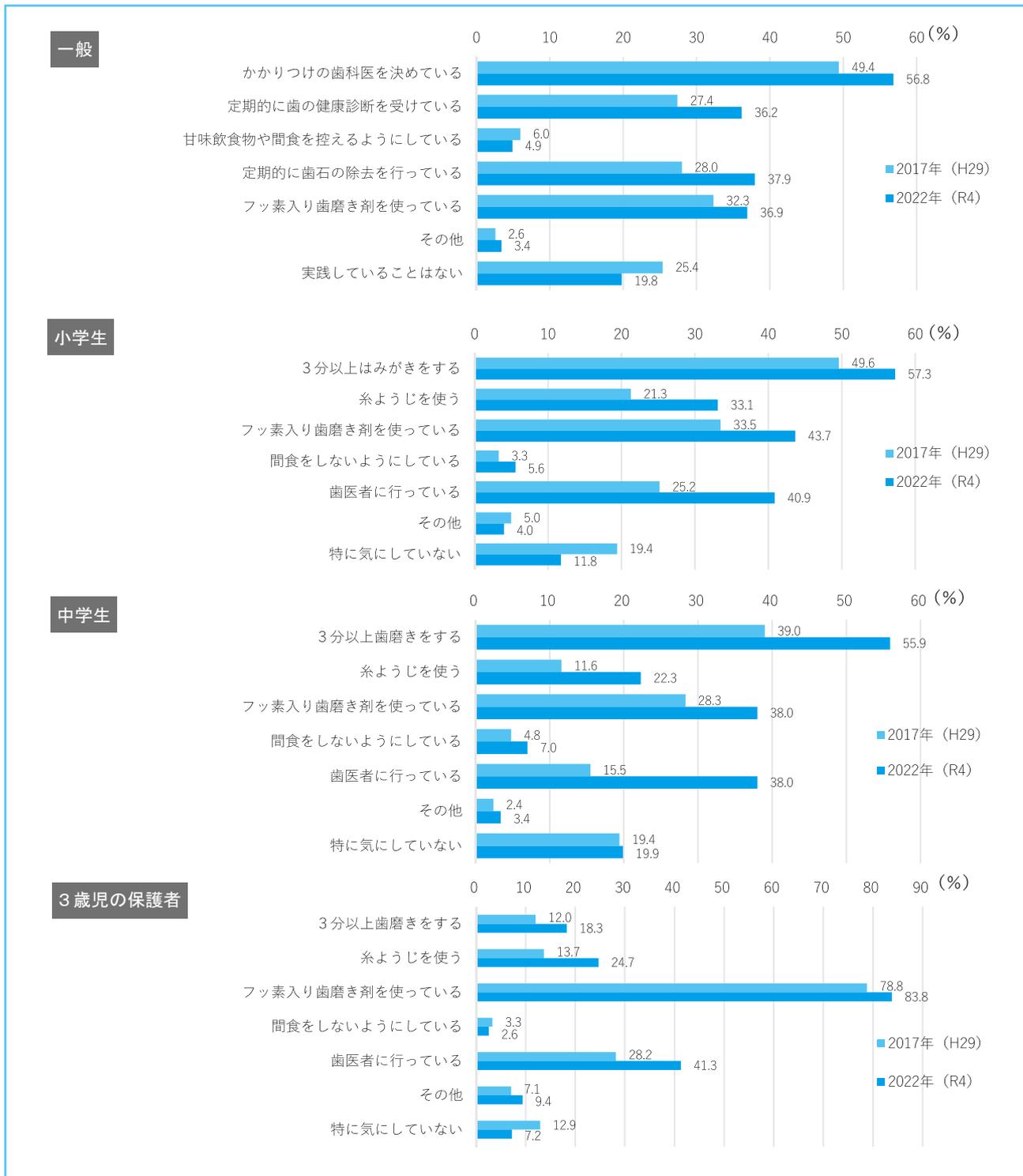
①歯の健康づくりのためにやっていること

一般では、「甘味飲食物や間食を控えるようにしている」以外の項目は、前回調査と比較すると増加しています。また、「実践していることはない」は減り、歯の健康づくりのために実践する割合が増えています。

小中学生は、歯の健康づくりのためにやっている項目がいずれも増加しています。

3歳児の保護者は、「フッ素入り歯磨き剤を使っている」が、最も多くなっています。

図. 歯の健康づくりのためにやっていること（複数回答）

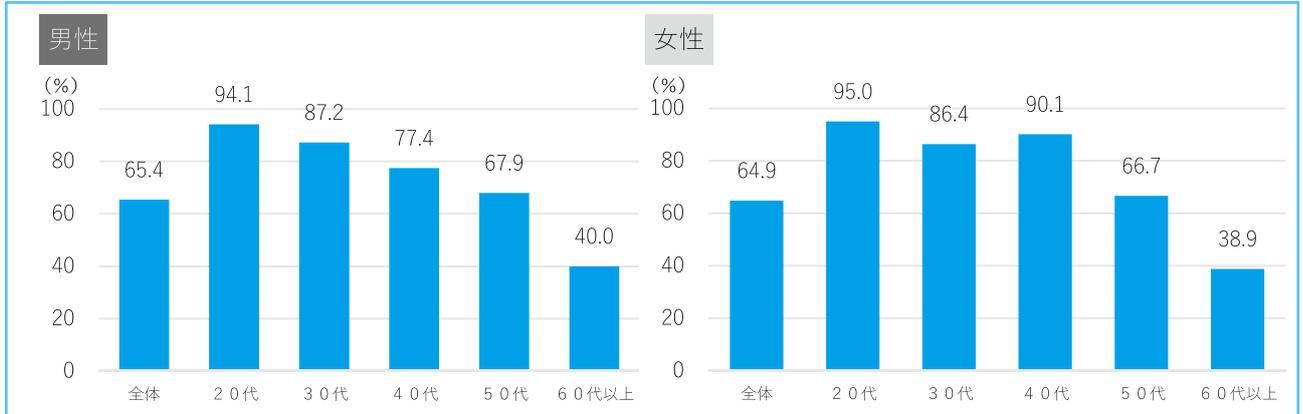


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般、小中学生、3歳児の保護者）

② 24 歯以上自分の歯が残っている人

自分の歯が 24 本以上残っている人の割合は、男女とも 60 代以降に大きく減少しています。

図. 24 歯以上自分の歯が残っている人の割合 (2022 年(R4 年))

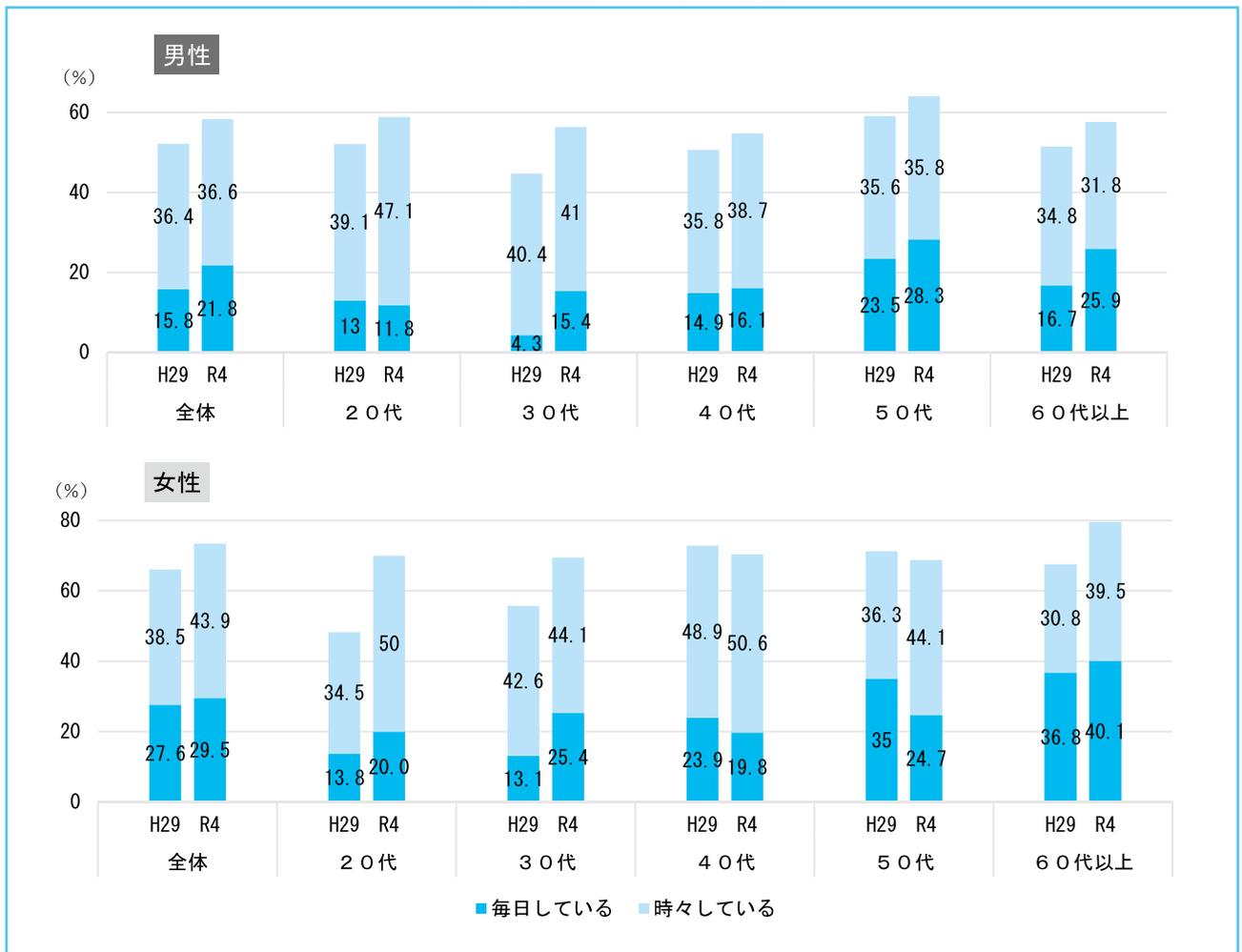


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

③ 歯間清掃している人

歯間清掃している人の割合は、男性より女性が多くなっていますが、男性は、前回調査と比較すると全年代で増加しています。

図. 歯間清掃している人の割合

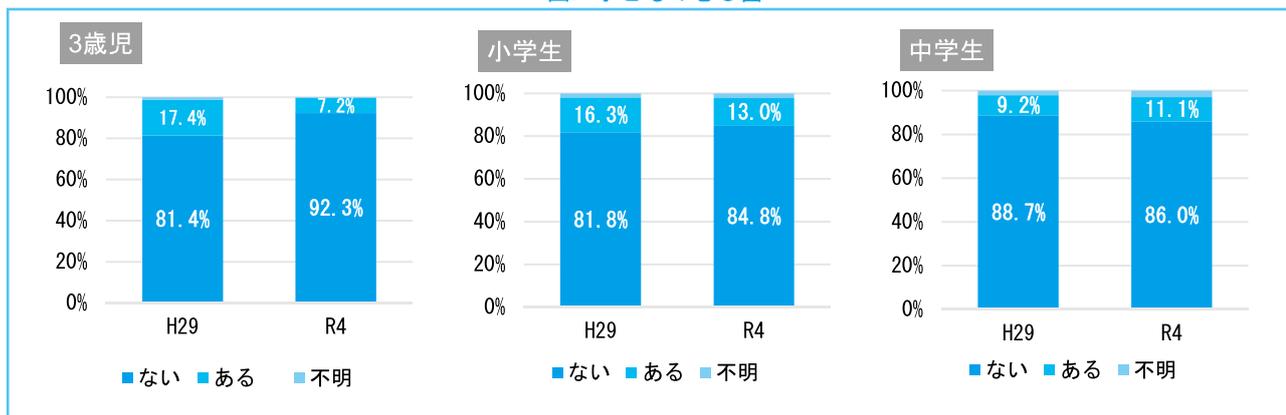


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

④こどものむし歯

3歳児のこどもの虫歯では H29と R4を比較すると、ないの割合が多くなっています。

図. 子どものむし歯



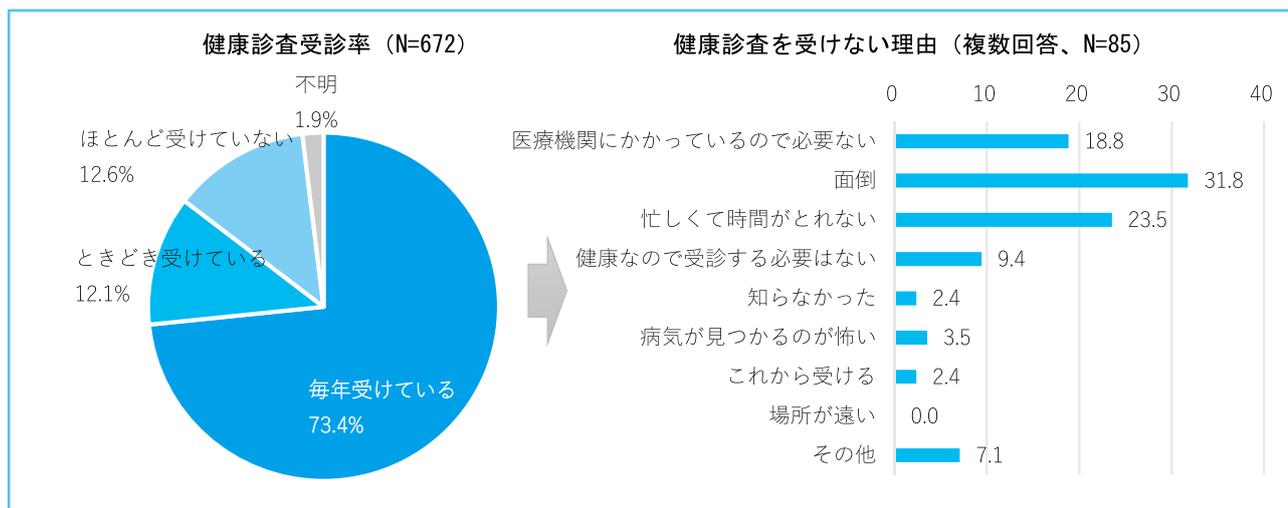
資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生、3歳児の保護者）

(7) 健康診査受診率

健康診査を「毎年受けている」は、約7割となっています。

一方、「ほとんど受けていない」理由として、「面倒」が最も多く、次いで「忙しくて時間がとれない」、「医療機関にかかっているのだから必要ない」となっています。

図. 健康診査の受診状況（2022年(R4年)）

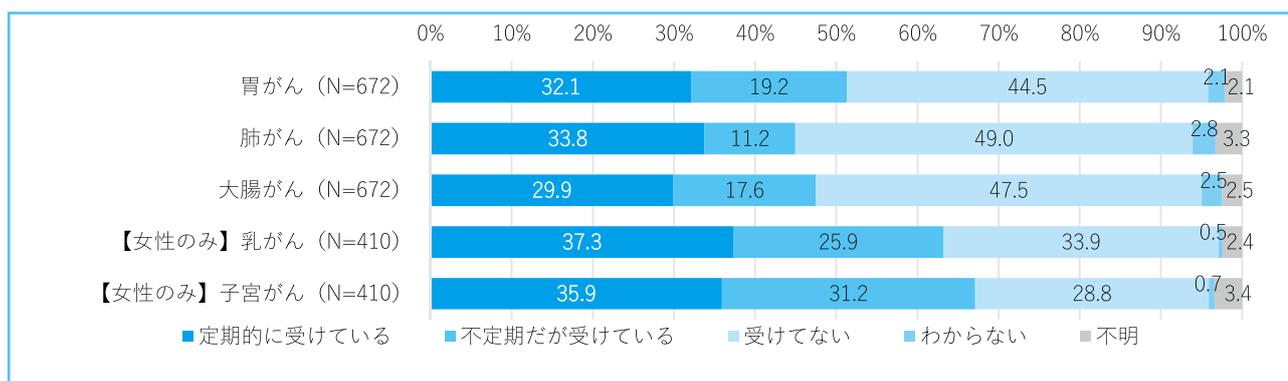


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(8) がん検診受診率

がん検診を「定期的を受けている」は、「乳がん(女性)」が最も多く、次いで「子宮がん(女性)」「肺がん」となっています。ただ、「肺がん」については、「受けていない」が最も多いがん検診となっています。

図. がん検診の受診状況（2022年(R4年)）



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

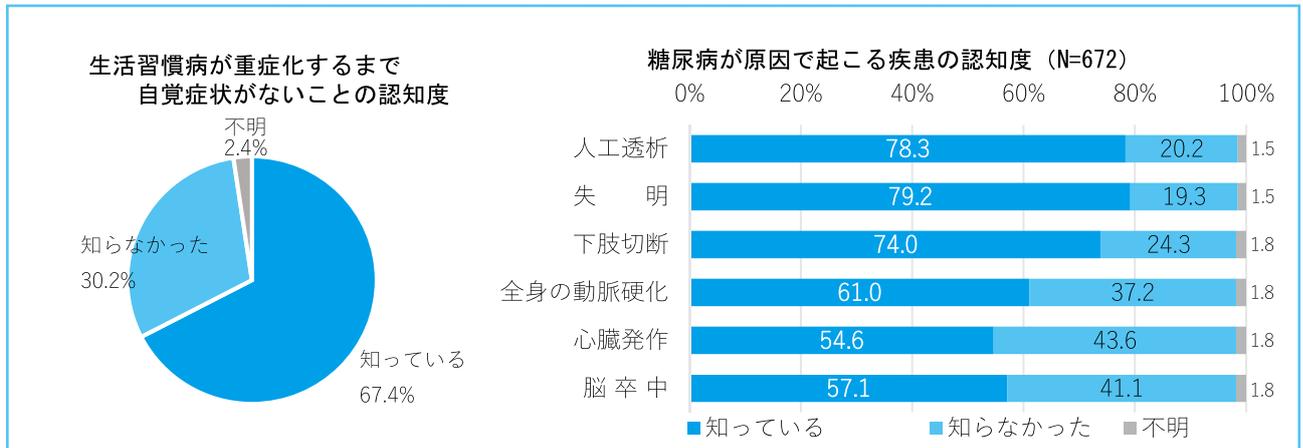
(9) 生活習慣病

①糖尿病をはじめとする生活習慣病に関する知識

生活習慣病が重症化するまで自覚症状がないことを「知らなかった」という人は、3割程度となっています。

また、糖尿病が原因で起こる疾患について、認知度が低かった項目は「心臓発作」が最も多く、次いで、「脳卒中」「全身の動脈硬化」となっています。

図. 糖尿病をはじめとする生活習慣病に関する知識 (2022年(R4年))

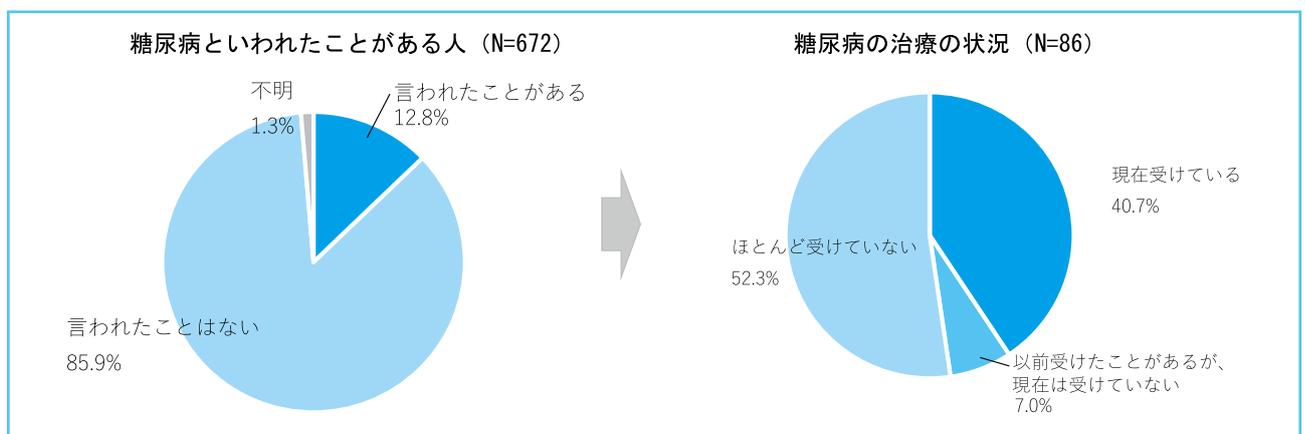


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

②糖尿病の治療

糖尿病と「言われたことがある」という人は、約1割となっており、そのうち約5割が治療を「ほとんど受けていない」状態となっています。

図. 糖尿病の治療 (2022年(R4年))



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）